

『監禁婚』シリーズ 出演声優インタビュー

ボイスドラマシリーズ『監禁婚』の男性たちは、
変態ながらもどこか母性をくすぐる魅力的な人物ばかり。
そんな難しい役どころを見事に演じ切り、ファンを魅了した3名の声優陣に電撃インタビュー!!
本作の見どころやご自身の演じたキャラクターについて、
各タイトルにまつわる裏話などをたっぷり伺った。

三楽章

『監禁婚』西条凍時役、「征徒会」西条光役、「桜華譚」西条環役

— 各タイトルを演じられたご感想や、作品のご感想をお願いします。

※『監禁婚～凌辱の日々～』
すべての始まりはここから! 手探りのまま「とにかくつめて変態に」という気持ちで演じました。おかげまでご好評をいただき、変態が板についてきた気がします(笑)。

※『監禁婚～絶望の日々～』
前作が変態丸出しだったので、この作品では変態成分と、ほんの少しの茶目っ気を出してみました。たとえばヒロインのお父さんと会った時にクスクスと笑うシーンは、台本に指定がなかったんですよ。あそこは僕なりの茶目っ気を入れた部分です。

※『征徒会～略奪の日々～』
息子の話ということで、凍時よりも少し声色と性格を変えて演じました。凍時みたいに変態成分ブツギリではないので、その微妙なさじ加減に苦労しました。シリーズを通して一番演じるのが難しいキャラです。西条グループ次期会長という重圧にも負けないくらい強い子ですが、弱い部分もあって、そこが愛すべき部分かなと。シリーズを通して人間として少しずつ成長していく様が可愛いキャラでもあります。

※『監禁婚～甘やかな日々～』
この作品は「凍時との一生」「西条家の総集編」ともいべき作品で、シチュエーションドラマとしては珍しい感度のドラマではないでしょうか。凍時という人間のルーツ、そしてこれまでのキャラクターたちの物語等、色々楽しめる作品です。

※『桜華譚』
腸詰めめ、腸詰めによる、腸詰めのための物語だと思います(嘘)。黒、白のタイトルがあるのですが、片方だけ聴いても楽しめます。もちろん両方聴くと真相がわかって、『監禁婚』シリーズのお家柄がわかる貴重な逸品だと思います。環は、光の次に難しいキャラクターでした。冷ややかながらも情熱と欲望の灯火は消えることがなく、且つ、それを表立って見せることがない人です。なので、ただの変態にならないように気をつけて演じました。

— 各タイトルの聴きどころや、萌えどころを教えてください。

※『監禁婚～凌辱の日々～』
突き詰めた変態を聴いたら、まずはこの作品でしょう! あの日、あの時、あの場所でヒロインに会えなかったら……。なんて考えてしまうと切なくなりますね。

※『監禁婚～絶望の日々～』
凍時の生い立ちが垣間見えます。ここで絆されて凍時さんが可愛く思えてきたら、もう立派な『監禁婚』ファンです。

※『征徒会～略奪の日々～』
変態成分少なめの策略系が好きなら、この作品がオススメです。「若いつて良いよね」と思える作品でしょう!

※『監禁婚～甘やかな日々～』
シリーズ通して最後に聴くと、楽しき感動マシマシになります。この作品だけでも楽しめますが、やはりシリーズ通してから聴くと感動します。

※『桜華譚』
聴きながら腸詰め(粗挽き)を食べましょう! 食べても食べなくても西条家の本質が見える作品です。環のヒロインとその他に対する態度の差に、きっとゾクリとできると思います。「呪いの始まり」という点で聴いても、感慨深くなりますね。

— 『監禁婚』シリーズの魅力を教えてください。

何と言っても、(変態成分を抜けば)非の打ち所のない完璧な男たちに、骨の髄まで愛されるのでしょうか。また、一見完璧に見える彼等ですが、やはり弱い部分があるという魅力の一つだと思います。その弱い部分を含めて愛せるかどうかで、楽しみ方も変わってくるのではないのでしょうか。

車で例えるなら、凍時はイタ車、誠はアメ車、光は英国車、一真はフランス車、環はドイツ車、という感じでしょうか(個人的な感想)。

それぞれ特徴があって、素晴らしいキャラクターたちだと思います。
— 各キャラクターを演じるにあたり、印象に残ったところや楽しかったところはあるですか。また、好きなセリフや印象に残ったセリフを教えてください。

※西条凍時
とにかくいつも絶倫変態成分全開。時折見える切なさや、演じていて難しいところでした。好きなセリフは「は、鼻血が……」です。

※西条光
いつでも冷静に物事を判断するキャラなのですが、凍時と同じ日に収録とかなると、つい感情的になってしま……、激情を抑えるのが難しかったです。シリーズ中が一番難しいのが光でした。個人的に好きなセリフは「チェックメイトだ」です。

※西条環
変態なんですけど、変態に聞こえないように演技するのが難しかったです。好きなセリフは「腸詰めを踏んでくれなさい」です。

— 各キャラクターにメッセージをお願いします。

※西条凍時
後悔先に立たず……だよ(笑)。欲望のままに行動すると、取り返しがつかなくなることもあるし、冷静になれないくらい好きな相手なら、最初から大切に接してあげてね。大抵のことはお金で解決できるけど、そうじゃないこともあるんだよ。カードが使えるお店も趣があるので、たまにそういう所に行くってヒロインが喜ぶと思います。

※西条光
できるだけ長生きしてください。光くんのせいではないけれど、健康は何よりも宝です。お父さんの教養は、正しいこともあるけれど、たまに「違う、そうじゃない」ってこともあ

るので、頼りになる仲間や家の執事に相談してください。

※西条環
一途なのはとても素敵な事です。でも自分に自信をもって、もっと冷静に考えれば、他にも手段があったと思います。

— 『監禁婚』シリーズの登場人物で、好きなキャラクターや自分に似ているキャラクター、共感できるキャラクターはいますか。

どのキャラクターも素敵で魅力溢れる人物です。嫌いなキャラは不思議なことにいません。一番は誰! とは言えないのですが、凍時の指揮下で仕事をしている人達は本当に凄いなと思います。僕も運転する仕事に就いていたことがあるのですが「絶望の日々」で運転手をしている人は、プロ中のプロだと感じました。凍時が事を始めてから終わるまでの時間を計算して、終わりそうなところにヒロインの家に到着する……。完璧です。これぞプロの技だと思います。日々刻々と変化する交通状況を予想し、安全に、しかも的確に到着する匠の技……。脱帽です。「体イキ祭」では、同僚の田中というキャラが出てくるのですが、彼も素敵な人間だと思います。公開されているSSを読んでから、田中の登場するシーンを聴いたら、彼の良さがわかると思います。

— ずばり! 『監禁したい』という願望を抱いたことはありますか。無い場合、そうした願望を持つ人をどう思いますか。

監禁したいという欲望はありません。強すぎる制限は、いずれ壊れてしまうので。ある程度の自由があってこそ人は努力し、人生が光り輝くものだと思うのです。なので僕はしませんが、もし誰かが監禁するなら、それ相応の環境や待遇をしっかりと整えるべきだと思います。凍時くらいイケメンで腐るほどお金が余っていて甲斐性のある人なら、もしかしたら「まあ、しょうがないよね」と思ってくれる人がいるかもしれませんね。

— 光のように生徒会活動をされたことがありますか。無い場合、所属されていた委員会を教えてください。

残念ながら生徒会活動に参加したことはありません。好きな委員会にはくじ引きでしたので、常にくじ運の悪い僕は、やりたくもない委員会に入って活動していました。そのなかで図書委員として活動していたころは、毎月オスメの本というのをまとめた全校生徒に向けてプリントを作成しなければならず、たいして本が好きではなかった僕は、関係ない記事を作成し「この作者は誰でしょう」という、わけのわからないクイズを導入して、プリントの範囲を埋めていました。今考えると申し訳ない気持ちでいっぱいです……。

— 西条親子のようにどうしても手に入れたい女性がいいたら、どんな風にアプローチしますか。

一生添い遂げたいという女性には適切な距離を保ちつつ、優しさや敬意を払って近づきたいです。僕から一方的に好きになってもダメでしょうし、相手ありきの事なので、やはり相手の気持ちを尊重します。背伸びはしないけど、好きになってもらえるように、相手と生活の好みを合わせるようにしますね。でも大切にすればするほど離れていってしまう場合もありますので、微妙なところですね。

— 光のような息子がいいたら、愛情を持てると思いますか。また、凍時のような父親がいいたら尊敬できると思いますか。

光くんのような「話せばわかるタイプ」の子でも、そうじゃなくても、自分の子なら愛すると思います。というより自分の子ですから、愛さないという選択肢はありません。そして子はいえ、一人の人間。人としての考え方、尊厳があります。その点を尊重し、やってみたいこと、挑戦したいことがあれば全力で応援したいと思います。凍時のような父親がいいたら、複雑な感情でしょうね。凍時のヒロインに対する行動は尊敬に値しますが、それ以外のことにしても見放さず向き合いたいと思います。

— 西条親子のような人間に生まれたり何をしたいですか。

思えば過ぎて何をしたらいいのか、わからないです(笑)。ただ、何をしても「西条さんのところ」っていう副題のついた人生は面白くないので、自分を知っている人がいない場所で、一人の人間として認められるようなことをやってみたいですね。

— 印象に残っている収録時のエピソードを教えてください。

鍛え続けているので、一日目の収録時と比べると、息切れが少なくなった感覚はあります(笑)。「監禁婚」の収録は良い意味でメッチャハードなので、いつも限界まで自分を追いこまないといけないんですよ。あと、エンジニアさんに「面白い」と言ってもらえた日は、本当に嬉しかったです。イラストを担当されている心友先生が来られたこともあるのですが、その時も「これは良い!!」とお墨付きをいただけて、感激しましたね。

— 大人気タイトルとなった『監禁婚』シリーズですが、今後の展開で期待されていることはありますか。

『監禁婚』シリーズの朗読とかのイベントがあったら面白いなと思います。あ、あと『監禁婚』シリーズの歌なんてあったら歌ってみたいですね!

— ファンの皆様にもメッセージをお願いします。

僕がこうして、今もお役者として活動できているのは、皆様のお陰と言っても過言ではありません。「BLOOD CHAIN」からしばらくのお時間をいただき、西条凍時という、類いまれなるキャラクターを演じ続けられたのは、監禁婚ファンの皆様あってこそだと思います。もちろん、キャストイングをしてくださったDusk様のお陰でもあります。たった一つの欠点を除いては、完璧な男……西条凍時。最初にこのお話を頂いた時「僕にできるのだろうか」と思いました。でも「三楽章さんの思う最高の変態でお願いします」と言われたときに、そこまで言われたら……やっややるぜ! と燃えました。愛される変態「凍時」も、僕も、リスナーの皆様への応援や温かい感想があって成長できました。シリーズを通して聴いてくださった皆様、そのうちの一つでも聴いてくださった皆様、本当にありがとうございました。

Miraku Akira

三楽章 みらくあきら
どこかノーマルな声質が特徴で落ち着いたキャラクターから、狂気的なキャラクターまで幅広く演じ分ける。出演作: 18禁乙女ゲーム「越えざるは紅い花」(エスタ)、シチュエーションCD『そこは狂った夢の淵』(間宮定継)、『墮落の国のアリス Alice with Queen of Hearts ハートの女王と晒せく』(ハートの女王) など